

令和元年度生活支援体制整備事業 第2回 第1層協議体 会議録

議題	(1) 地域包括ケア支援システムについて (2) アンケート調査結果を活用した取組状況 (3) その他
日時	令和2年2月18日(火) 11時15分から12時00分まで
場所	青少年会館 1階研修室
出席者氏名 (敬称略)	平本 哲也、菅野 京子、矢島 啓志、杉田 司、高田 麗、 菊池 利枝、鈴木 隆司、習田 祐子、阿部 洋子、中戸川 正、 林 正明、澄川 篤、柏崎 周一、小山 紳一郎、吉川 美香、 臼井 高之、吉川 宗孝、藤尾 直史 (欠席委員) 松井 新吾 (事務局等) 熊澤 克彦、原 鮎子、遠藤 駿、東方 明美、吉武 泉、 太田 雅世、加藤 絵里、岡田 美穂 (公益社団法人かながわ福祉サービス振興会) 谷川 謙
会議資料	・茅ヶ崎市生活支援体制整備事業に係る令和元年度 第2回 第1層協議体 次第 ・第1層協議体構成員等名簿 ・座席表 ・【資料1】サロン情報などをマッピングしてさらに活用しやすくします!～地域包括ケア支援システムの導入～ ・【資料2】ささえ愛♡ちがさき通信(生活支援体制整備事業周知用リーフレット)
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	—
傍聴者数 (公開した場合のみ)	0人

1 開会

○（茅ヶ崎市福祉部 熊澤 克彦 部長）

本日は茅ヶ崎市生活支援体制整備事業令和元年度第2回第1層協議体にご出席いただき誠にありがとうございます。前回の会議では、アンケート調査結果の活用方法についてご意見をいただきました。本日は、ミニデイサロンを含む情報発信を議題とさせていただいております。本市の高齢者数は現在約6万5千人で、そのうち半数以上にあたる約3万3千人が75歳以上と高齢者の高齢化が進んでいるという状況です。また、単身の高齢者や高齢者のみの世帯が増えているという中で、困りごとを抱えている高齢者を地域でどのように支えていくかしっかりと議論する必要があると考えております。高齢者を支えるために、地区では移動支援への取組や様々なサロンの展開が行われています。後程、サロンを含む高齢者を支えるための社会資源情報を発信するシステムについて取り上げさせていただきますが、地域における課題の解決や住民の方の暮らしの改善に向けて様々な意見を賜れば幸いです。本日はよろしくお願いたします。

2 議題

(1) 地域包括ケア支援システムについて

○ 茅ヶ崎市高齢福祉介護課 吉川 宗孝

生活支援体制整備事業では昨年度、市内にあるサロンの把握に取り組み、100か所以上のサロン情報を収集した。この情報は茅ヶ崎市社会福祉協議会のホームページに掲載するとともに【資料1別紙】「ミニデイサロン一覧」のとおり紙面でも配布しているが、加えてインターネットで検索しやすい仕組みを構築するために新規システムの導入を検討している。本日は検討中のシステム「地域包括ケア支援システム」について、システム提供元であるかながわ福祉サービス振興会の谷川主幹よりデモンストレーションをしていただく。実際の画面を見ていただきながら、茅ヶ崎市が本システムを導入した場合、どのようなメニューを公開するとよいか等皆様から意見をいただきたい。

○ 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 谷川 謙

地域包括ケア支援システムは、介護保険サービスや障害福祉サービスの情報を提供している「かながわ福祉情報コミュニティ」のひとつとしてかながわ福祉サービス振興会が開発した。地域の社会資源情報のデータベースとして様々な市町村で活用いただいている。今回は、既に導入いただいている大和市を例に【資料1】に沿ってシステムの概要を説明する。メニューは大きく「種別から探す」「地図から探す」「ピックアップ」の3つに分かれている。

・種別から探す

地域の社会資源情報がカテゴリごとに分類されており、見たい情報を選択すると詳細を表示することができる。写真の掲載も可能。

- ・地図から探す

地図上に社会資源が表示される。地図上のアイコンを選択すると詳細を確認できる。表示情報はカテゴリ単位で切り替えることができる。

- ・ピックアップ

特集したい情報や分類が難しい情報を記事形式で紹介できる。住民にとってイメージが難しい場所やサービスの情報を写真や利用者の声とともに掲載することで身近に感じてもらうことができる。

<意見>

- 茅ヶ崎市地域包括支援センター管理責任者会 高田 麗

地域包括支援センターでは、「ケアマネジャーをつけたいが、どこに頼めばいいのか」「介護保険サービスを提供している事業所はどこにあるか」といった質問をよく受ける。介護認定された場合、市から被保険者証とともに居宅介護支援事業所の一覧が送られてくるが、地図上で確認できる地域包括ケア支援システムがあると便利だと思う。専門職としても、本システムを用いることで地域のサロンや民間企業が運営している各種サービスをお客様へ分かりやすく案内できる。

- 茅ヶ崎市地域包括支援センター管理責任者会 菊池 利枝

居宅介護支援事業所の特色を知りたいという相談を受けることがある。特色といってもどこまで書くことができるか判断が難しいかもしれないが、そうした情報も地域包括ケア支援システムに掲載できると利便性が高まると思う。

- 茅ヶ崎市介護予防ボランティア 菅野 京子

フレイルチェックの参加者に近隣地区で行われている取組などを載せた情報誌を渡しているが、地域包括ケア支援システムを使用すれば、そうした情報をより分かりやすく伝えることができる。家族もインターネット上で情報を確認できるというメリットがある。

- 一般社団法人 茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会 平本 哲也

かながわ福祉情報コミュニティはケアマネジャーの必須アイテムである。地域包括ケア支援システムを導入することで、サロンなどの情報も追加されることになれば、より活用しやすくなる。利用者側としても、たとえば夫または妻と死別し、独居になってし

まった高齢者に対し、離れて住む家族が本システムを利用することで「こんなサロンが近くにあるらしいから行って見ないか」といった情報提供ができるのではないか。本システムにサロンの様子や可能であればサロンの評価を載せることができれば利便性はさらに高まると思う。

また、介護サービス事業所や老人クラブなど高齢者の支援をしている方々は自分たちの活動をPRしたいはず。それが本システムで可能となれば、支援側も積極的に情報更新やアクセスをするようになるだろう。

○ 茅ヶ崎市高齢福祉介護課 臼井 高之

地域包括ケア支援システムを利用する方が知りたいと思うであろう情報を可能な限り掲載したい。その際、個人宅で行っているサロンなどは掲載の可否などをしっかり確認しながら進めていく。導入は4月以降になるため、本会議終了後でも構わないので掲載内容などについて意見があればいただけるとありがたい。

(2) アンケート調査結果を活用した取組状況

○ 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会 藤尾 直史

地区社会福祉協議会やまちぢから協議会に依頼の上、1月頃から各地区で外出に関するアンケート調査結果の説明会を開催させていただいている。説明会は、アンケート調査結果の話をして終わりではなく、地域包括支援センターが「地区診断」という形で様々な取組を現在行っていることなども交えつつ、「外出」を切り口にその地区での課題を考えてもらえる機会にしたいと考えている。そのためにアンケート調査結果の冊子を活用していきたい。

○ 茅ヶ崎市高齢福祉介護課 臼井 高之

「サロンでアンケート調査結果について説明してもらいたい」といった要望をいただければ、説明に伺うので是非連絡をいただきたい。今後、各地区における困りごと、既に行われている支援の把握や不足しているサービスの開発を地区の皆様と一緒に進めていきたいと考えている。そのために、第1層協議体構成員の皆様が所属する団体にどういったことを相談できるのか、会議に参加させていただくにはどうすればよいかなどについて意見をいただきたい。

<意見>

○ 茅ヶ崎市介護予防ボランティア 菅野 京子

地区における困りごととして、小和田地区ではコンビニの閉店により買い物が不便に

なってしまった。アンケート実施前と比べ状況が変わってしまったようだが、他の地区では何か変化はあるか。

→○ 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会 藤尾 直史

同じく買い物の話題として、中海岸周辺でもセブンイレブンが閉店したことで買い物が不便になったという意見が出ている。また、市内各地でコンビニに限らず様々な店が閉店しているようだ。

→○ 茅ヶ崎市地区ボランティアセンター連絡会 習田 祐子

ボランティアセンターは地域包括支援センターと連携し、介護保険で対応できないことを支援している。以前は草取りの依頼などが多かったが、各地で様々な店が閉店しているせいか、今は買い物の依頼が特に多い。

○ 茅ヶ崎市老人クラブ連合会 柏崎 周一

【資料1別紙】「ミニデイサロン一覧」を見ると、老人クラブの活動と重なるものが多いように思える。老人クラブは市内に95団体あり、活動内容はゲートボール、ゴルフ、カラオケ、誕生日会など50種類以上ある。老人クラブの活動は基本的にはクローズだが、ものによってはオープンにする。今後、地域包括ケア支援システムにサロン情報を掲載していく上で、こうした老人クラブの活動は対象になるか。

また、市内には友愛クラブが20団体ほどあり、相談受付や訪問活動を行っている。しかし、「ミニデイサロン一覧」のようなものに掲載されることは無い。参加者を増やすために何かうまいPR方法はないか考えている。

→○ 茅ヶ崎市高齢福祉介護課 臼井 高之

オープンなイベントは地域包括ケア支援システムに「ピックアップ」として公開するなど、システムを上手く活用してPRすることで参加者を増やすことができるのではないかと考えている。

(3) その他

○ 茅ヶ崎市高齢福祉介護課 吉川 宗孝

【資料2】のとおり、茅ヶ崎市生活支援体制整備事業を周知するためのリーフレットを発行した。第1層協議体構成員の関係団体や地区への配布をお願いしたい。また、さらなる周知活動として「広報ちがさき」に本事業についての記事を掲載する。内容は本事業の概要、地域支え合い推進員の存在や本日デモンストレーションを行った地域包括

ケア支援システムの紹介などを考えている。

3 閉会

○（茅ヶ崎市高齢福祉介護課 白井 高之）

今年度は外出に関するアンケートの集計と分析を行ってきました。本事業の周知活動をはじめ、取組が不足しているところもありますが、皆様のお力を借りながらサービスの開発に繋がれるよう取り組んでまいります。今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。